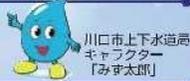


令和元年度水道事業会計決算の概況

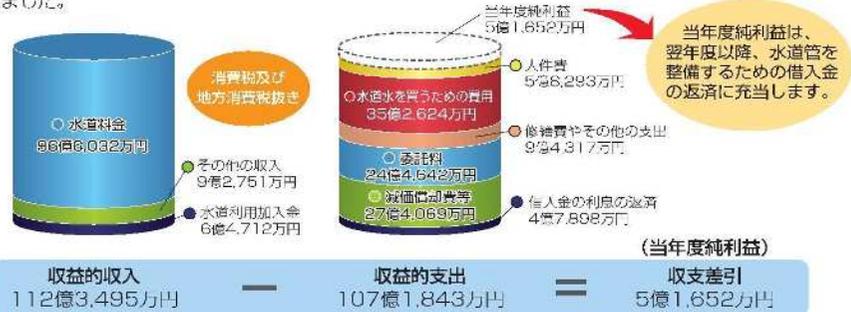
お問い合わせ
財務課 水道財務係

水道料金は、水道水を作り、ご家庭や事業所へ送る費用、水道施設の維持管理、更新や耐震化のための費用などに使われています。



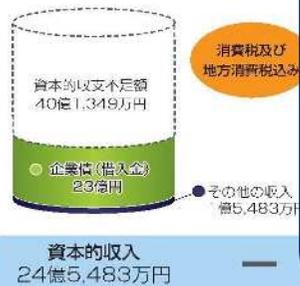
収益的収支……水道水を作り、ご家庭や事業所に送るための収支

令和元年度の収益的収入は、前年度に比べ7,287万円（0.65%）増加し、収益的支出は、前年度に比べ1億259万円（0.97%）増加しました。その結果、収支差引である当年度純利益は、5億1,652万円となりました。



資本的収支……水道管や浄配水場を整備するための収支

資本的支出は、水道施設の拡張や改良の費用で、24億5,483万円となっています。この収支不足額40億1,349万円は、消費税及び地方消費税込みの費用などで補てんしました。



質問1

給水世帯数が増加しているにも関わらず、年間配水量が減少しているのはなぜですか？
また、年間配水量が減少すれば、運動して年間処理水量も減少するものですか？

節水機器の普及や生活様式の変化などにより、1人1日あたりの平均使用水量は年々減少しており、また、単身世帯が増加していることから、世帯数の増加が配水量の増加に直結しない状況となっています。
また、水道の利用者と下水道の利用者が必ずしも一致しないこと（どちらかみの利用者もいること）、年間配水量と年間処理水量とでは計測や算定の方法が異なることなどから、年間配水量が減少しても一概に年間処理水量が減少するとは言えません。

令和元年度 水道事業概要

項目	内容	単位	令和元年度実績 (A)	平成30年度実績 (B)	比較増減 (A)-(B)
給水人口	水道により給水を受けている人口	人	608,385	604,668	3,717
給水世帯	水道により給水を受けている世帯数	世帯	291,998	286,884	5,114
年間配水量	1年間に浄配水場から送り出した水の総量	m ³	64,078,006	64,709,974	△631,969
有収水量	水道料金徴収の対象水量	m ³	57,754,866	58,019,984	△265,018
有収率	年間配水量に対する有収水量の割合	%	90.13	89.66	0.47

質問3

上下水道ともに有収率が増加しているのはなぜですか？

水道事業については、有収水量の減少割合以上に年間配水量の減少割合が大きかったことにより、有収率が上がっています。平成30年度は、工事等に伴い水道局が使用する水量（料金徴収の対象とはならない）が例年よりも多くあったため、年間配水量にも影響しており、令和元年度にはこの部分が大きく減少したことが主な要因と考えられます。
下水道事業については、有収水量が増加しているのに対し、年間処理水量が減少していることにより（質問2参照）、有収率が上がっております。

令和元年度下水道事業会計決算の概況

お問い合わせ
財務課 下水道財務係

下水道使用料は、ご家庭や事業所から出た汚れた水をきれいにするための費用、下水道施設の維持管理にかかる費用などに使われています。また、雨水の処理には税金が使われています。



収益的収支……汚水をきれいにし、雨水を排水するための収支

令和元年度の収益的収入は109億2,579万円となり、収益的支出は100億9,676万円となりました。その結果、収支差引である当年度純利益は、8億2,903万円となりました。



資本的収支……下水道管やポンプ場を整備するための収支

資本的支出は、下水道施設の拡張や改良の費用、借入金の返済など77億4,145万円で、これに対し、資本的収入は53億9,387万円となっています。この収支不足額23億4,758万円は、消費税及び地方消費税込みの費用などで補てんしました。



質問2

年間処理水量が減少しているのにも関わらず、有収水量が増加しているのはなぜですか？

「年間処理水量」は、流域下水道(※)で処理された汚水処理量のことをいいます。主に県が設置している流量計により把握しますが、工事や故障により計測できない場合などは、実測値ではなくあらかじめ決められた方法により算定を行います。
一方、「有収水量」は、下水道使用料の徴収にあたって各家庭や工場から排水された水量を市が計測したものであり、双方の増減はイコールとならないことがあります。

※複数の市町村から排水された汚水を、行政区域を越えて処理する県の施設です。

令和元年度 下水道事業概要

項目	内容	単位	令和元年度実績 (A)	平成30年度実績 (B)	比較増減 (A)-(B)
水洗化人口	下水道により汚水を処理している人口	人	504,610	499,365	5,245
水洗化世帯	下水道により汚水を処理している世帯	世帯	245,056	239,934	5,122
年間処理水量	1年間に処理した汚水の総量	m ³	56,167,682	58,424,030	△2,256,348
有収水量	下水道使用料徴収の対象汚水量	m ³	51,641,936	51,535,918	106,018
有収率	年間処理水量に対する有収水量の割合	%	91.94	88.21	3.73